

奨励賞

行田観光ボランティア会【行田市】

行田観光ボランティア会は、平成10年より行田市内の忍城址や埼玉古墳群、足袋産業、古代蓮の里などの観光拠点を中心に、年間100件約3000人に無料で観光ガイドを行っている。古代蓮の開花時は、古代蓮公園内にガイドが常駐し、多くのお客様を案内している。

また、他市の観光ボランティアとの交流や育成講座の実施などガイド力の向上にも取り組んでいる。



① 行田市全域の見所のガイドについて

観光案内所を通じ予約制にて、無料でガイドを行っている。お客様の要望を良く聞いてコースを調整し、足腰が弱いなどお客様の希望と状況に沿った御案内をしている。

また、車の多い場所では、お客様の安全に注力し、当日の天候、帰りの時間などにも気を配っている。

専門的な歴史研究会や障害者団体等の難しい要望にも会員同士協力して、対応できるよう取り組んでいる。

② 古代蓮の里公園でのガイド常駐について

蓮の開花時期6月下旬～8月上旬の土、日、祝日などの午前中4時間、5名程度が公園内に常駐して蓮のガイドを実施。

おせっかいにならない程度に声を掛け、古代蓮が発芽した経緯や蓮の一生について説明を行う。広い公園の中で、蓮の一番の見頃の場所を案内、古代蓮会館の展望室からの田んぼアート観賞をお薦めするなどお客様に喜ばれている。

③ 市内のお祭り、イベントの協力について

さきたま火祭り、夢まつりなど市内のお祭りなどにも協力している。火祭りではJR北鴻巣駅前から会場まで運行するシャトルバス内で行田の観光を案内。また、観光タクシーに乗車して案内することもある。

④ ガイド資質の向上について

会員の必須項目として養成講座を受講。マニュアルによる座学と現地による講座を3回程度実施。会員はお客様をお迎えするに当たり日々の研鑽を積んで、お客様から「行田に来て良かった!」と満足してもらえよう努力している。

⑤ 他市観光ボランティア団体との交流会について

年に1～2回他市の観光ボランティア会との交流会を開催。他市の観光の状況やガイドの仕方を学習している。他の団体との交流は視野も広がり、ガイド力の向上に役立っている。